

中堅・中小・ベンチャー

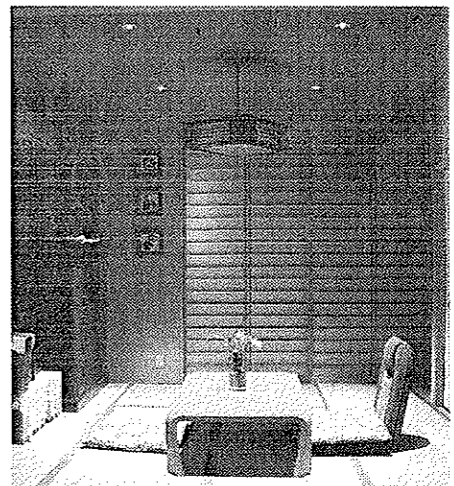
一般家庭向け売り上げの80%

太陽光採光システム「ひまわり」は、営業面でも困難に直面した。今まで世の中になかった商品だけに、まず商品自体を理解してもらった苦労があった。

現物見せ説明
「いへら立派なカタログや説明書を用意してもほとんど役に立たない」(山田光茂社長)。現物を持ち込みデモンストレーションを繰り返した。

日照問題だけでなく、北側の部屋や地下室にも自然の明かりが欲しい、というニーズは高い。実際の太陽の光を見せると、ユーザーの表情が和らいだ。だが「天候によってうまく採光できず、あきれかえられるなどの失敗もあった(同)。

国内に25店、海外は韓国、台湾、中国に計4店の特約店を設置。「特約店には「プロ機とシヨールームを設置、『ひまわり』を体感してもらえ」専門知識が豊富なスタッフがそろえている「(同)と胸を張る。



太陽光採光システム「ひまわり」を採用した住居

自然光求めるニーズつかむ

特約店制度を構築

現在一般家庭向けが売り集光効率も向上していった。現在では、集光は直径95mmの非球面レンズを使用。各レンズにはコア径1mmの石英ガラス光ファイバーを取り付け、これを6本束ねた6芯バンドケーブルで太陽光を伝送する。「レンズ1枚ごとに光ファイバーを最適にマッチングさせることで、開発当初10%程度だった照射効率を現在では、46%にまで高めている。

また小型軽量化を進め、価格面でも、当初の半分以下の約100万円まで下げた。「一般家庭でも手の届く範囲になった」(山田)ことで普及にはずみがついた。ラインアップも拡充。集光レンズ6枚の小型機から、198枚の大型機まで幅広くそろえている。

現在では、年間400台ほどを一般住宅のほか、公共施設、地下歩道、研究・教育施設、介護施設、工場などに納入。ここ数年の売上高は年率4~5%とコンスタントに伸びている。自社技術への信念と、ニーズを的確にとらえた戦略が実を結び始めた。

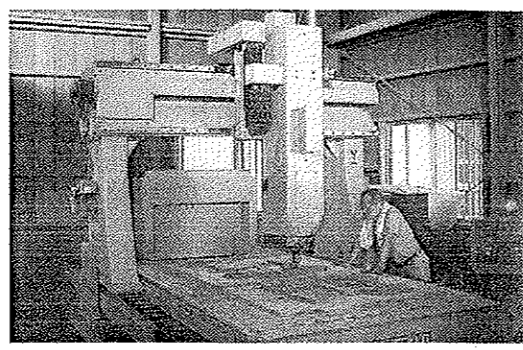
(敬称略)



レーザーエンジニアリング

铸造用木型生産力1.5倍超

松田木型製作所が積極投資 来年にも自動機追加



松田木型製作所(埼玉県羽生市、松田幸浩社長、048・562・5222)は、08年内にも自動的に木型を削り出す数値制御(NC)ルーターを新たに導入、生産能力を従来比1.5倍超に引き上げる。これで同社が保有する木工用の自動削り出し機は2台になる。木型業界では、自動車部品を手掛ける企業を除いて自動化への取り組みが滞っており、2台以上のNCルーターを保有する中小企業は関東圏でもわずかという。積極投資により顧客拡大を目指す。

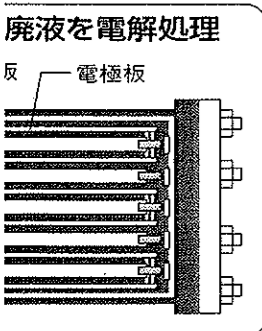
松田木型製作所は木工用00万円を投じる。自己資本と金融機関からの借り入れで対応する計画。同社が06年4月に導入したNCルーターに次いで2台目となり、能力などはほぼ同レベル。納期を2分の1に短縮できる。自動的に木型を削り出す数値制御(NC)ルーター。新たな自動削り出し機の導入に伴い工場内を再編する。同社に隣接する土地約170平方メートルを協力関係にある企業から借りた。これまで混在していた手作業スペースと機械加工スペースを明確に区分する。工場内に設置していた事務所も一時撤去し、新たに建て直す予定。

大型の精密測定機械部品など工作機械業界からの受注などが好調で、生産設備がフル稼働しており、新たな設備導入を検討していた。今回、生産能力が向上するのを踏まえ、得意とする大型铸造品の木型を中心に新たな顧客獲得を目指して打って出る構えだ。

同社は寸法が縦2.5m×横2.5mの大型の木型製作に強みを持つ。08年8月期売上高は07年8月期に比べ約12%増の5500万円を目指す。木型づくりは多くの小規模事業者が手掛けている。後継者不足が深刻化しており、業界の縮小傾向が加速的に進んでいる。

プラント設置面積3分の1 廃液処理用電解ユニット管

サンワーカー(大阪市東淀川区、堀田恭夫社長、06・6338・5820)は、化学や食品工場などの廃液処理プラント向けに、大型特殊電極を用いた電解ユニット管(図)を開発した。電極が電解処理槽の役割を果たすため、プラントの設置面積はワンタッチで着脱でき、特殊電極は銀や金、プラチナなど8種類の金属を用意し、廃液の量や質により適した金属を選択し、これに生物処理法や膜処理法などを組み合わせてプラントを設計し、最も処理効率の高いシステムを供給する。管はワンタッチで着脱でき、



MC3台核にFMS構築

小松金属 少量多品種生産に対応

【盛岡】小松金属(岩手県北上市、小松一男社長、0197・71・3500)は、新規に導入したマシンングセンターを3台のMCに自動搬送・装着でき、治具パレットの段取りロスを大幅削減できる。FMS構築をテコに

ホタテ貝殻で環境建材



「あわせ」は破砕したホタテ貝殻と石灰などを混ぜたのがきっかけ。そのほの料飲事業部と環境建材の環境事業部を傘下にするブルームの設立を決意した。「あわせ」は破砕したホタテ貝殻と石灰などを混ぜたのがきっかけ。そのほの料飲事業部と環境建材の環境事業部を傘下にするブルームの設立を決意した。

「あわせ」は破砕したホタテ貝殻と石灰などを混ぜたのがきっかけ。そのほの料飲事業部と環境建材の環境事業部を傘下にするブルームの設立を決意した。「あわせ」は破砕したホタテ貝殻と石灰などを混ぜたのがきっかけ。そのほの料飲事業部と環境建材の環境事業部を傘下にするブルームの設立を決意した。

10文字を1秒で打刻
テクニフォーが小型マーキングマシン【神戸】テクニフォー(兵庫県西宮市、佐々木美彦社長、0798・63・7325)は、1秒間に計10文字の打刻ができる小型の高速マーキングマシン「XF510C PII写真」を発売した。価格は162万7500